

事務事業評価票〔市単独補助金〕 平成 29 年度

		担当課	農林水産課				
基本事項	補助金(事業)名	基礎家畜保留事業補助金			整理番号	1409	
	根拠法令等	島原市農林水産業振興事業補助金交付要綱		実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第5章 「農漁商観」が融合した活力ある産業をつくる	予算科目	6 款 1 項 4 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規		
		節 第1節 農林業の振興	区分	奨励・助成			
事業概要等	補助金交付の対象(団体名等)	畜産農家(肉用牛・乳用牛・養豚)			実施期間	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 年度から <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 31 年度まで	
	事業の背景及び概要(現状、課題)、または交付団体の活動目的、活動内容など	農家の飼育する家畜の生産性の向上を図り、農業経営の安定と発展を期するため、血統・体格・肉質・資質能力共に優れた繁殖基礎家畜を育成保留することを目的とする。					
	目指す成果 (交付対象団体等をどのような状態にしたいのか)	優良な繁殖基礎家畜の育成・保留により生産性の向上、畜産経営の安定を図る。					
	補助金交付内容等 (積算基礎等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肉用牛：保留牛1頭あたり 50,000円以内 (13頭×50,000円/頭=650,000円)</li> <li>・乳用牛：保留牛1頭あたり 20,000円以内 (6頭×20,000円/頭=120,000円)</li> <li>・豚：保留豚1頭当たり 10,000円以内</li> </ul> ※予算の範囲内において補助金を交付する。					
事業費等の推移	年度		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	区分		実績	実績	実績	実績	予算額
	補助金交付額(千円)		840	840	770	710	770
	① 団体等事業費(千円)		840	840	770	710	770
	② 歳入内訳(千円)	会費等					
		前年度繰越金					
		市補助金	840	840	770	710	770
		その他の助成金					
その他雑収入							
次年度繰越金(②-①)		0	0	0	0	-	
28年度の当該団体等の事業費の主な内訳(市補助金が充当されていると思われるものから順に記載) (単位:千円)							
項目			金額	項目			金額
基礎家畜保留費			710				
補助金の使途についての特記事項等							

◎1次評価(自己評価)

○視点別分析		
視 点	現 状 分 析	説 明
① 助 成 事 業 の 効 果	<input checked="" type="radio"/> 意図した効果があがっている <input type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない	優良な繁殖基礎家畜の育成・保留を行うことにより、生産経営の合理化と資質の向上が図られ、畜産経営の安定化につながっている。
	<input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	
② 市 の 関 与 の 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている	畜産産地として維持・拡大を進めていくためには、地域ぐるみで優良な基礎家畜の育成・保留に取り組むことが不可欠であり、継続した支援が必要である。
	<input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	
③ 団 体 の 事 業 内 容 や 助 成 の 在 り 方 等 の 見 直 し 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 見直しの必要はない <input type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	畜種により、採択要件や補助上限等を定めており、見直しの必要はないと考えられる。
○総合評価と今後の方向性		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     総 合 評 価                 </div>	判 定	<input checked="" type="radio"/> A 継続(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input type="radio"/> B4 その他の見直し 休止・廃止の具体的方向性
	判 定 理 由	優れた繁殖基礎家畜の育成・保留は、畜産経営の安定と産地の維持・強化を図るためにも重要な取り組みであり、今後も継続した支援が必要である。
今後の課題と見直しの方向性(総合評価判定がB1～B4の場合)	課 題	
	見 直 し の 方 向 性	

◎2次評価

判 定	B4見直しのうえで実施 ⇒ その他の見直し
備 考	産業振興に一定の効果があることは理解できる。市関与の必要がどれくらいあるか、また補助金額が妥当であるか、効果検証を経て今後の事業の方向性を検討する必要がある。

◎3次評価

判 定	
備 考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況 (☑)	
<input type="checkbox"/> 補助額の削減 <input type="checkbox"/> 補助額の増加 <input type="checkbox"/> 補助の休止若しくは廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持                        ⇒ 予算措置額の増減                        0 千円	
備 考	